



NEWSLETTER

ITC-J Council No.2

第 40 期テーマ

成長から成熟へ

ITC-J 第 39 期テーマ

「再生と多様性を求めて」

Vol. 39 No.2

April 2021

カウンスル No. 2 第 40 期テーマ



【 成長から成熟へ 】

カウンスル No. 2 会長 高階 睦子

日常の些細な事が愛しく思えるようになりましたコロナ禍のこの1年、会員の皆様は如何お過ごしになられましたか。開催が当然と思われていました会合も一吹きで消えてしまうと解った今、全てが大切に感じられます。映像開催で何とか40周年記念会合は終えましたが、私達の心が揺さぶられたであろうスピーチコンテストの残念な中止も頭をよぎります。

ステイホームの間、今までの消費の後始末“断捨離”に取り組まれた方も多いたと思いますが、進歩や便利さだけでなく本当の豊さとは何かをきちんと感じ、次世代に何を伝えるべきかを思い描く時と考えます。今回のコロナ禍の医療体制、経済や孤立の不安等々。是非次回はZoomでなく直接のお目もじを楽しみに致しております。

ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

ITC-J Pledge

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

カウンスル No.2 第40期 第1回会合

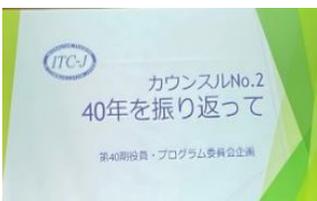
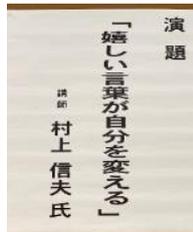
2020.11.17 神戸ポートピアホテル南館 トパーズの間



ビジネス



講演 村上信夫氏



カウンスル No,2 40年を振り返って

第40期 第1回会合決算書

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
40周年記念会費補助	150,000	本会計より	ホテル支払い	229,559	会議室料54,500,サービス料5,450,音響10,000,マイク8,000,
会費補助費	70,000	本会計より			ビデオ撮影100,000,CDデッキ5,000,及び消費税,お茶28,314
会費	31,500	1,500×21=31,500	お菓子と事務費	5,020	お菓子4,320、事務費700(席札、コピー、お菓子袋)
			DVD製作その他	14,351	DVD製作(コピー代含む)9,931,送料4320,振込料100
			予備費	2,570	
合計	251,500		合計	251,500	

コーディネーター 興梶美和

クラブ例会後期プログラム予定表

会長：武本夕香子 会員数：13名 テーマ：無理なく人生を楽しもう！

阪神

コロナ禍の中新しい試みに挑戦
1月 Zoom 例会のプログラムを
ITC-J 教育資料より「型破り自己
紹介」を楽しく実施しました。

2月5日	Zoom	スピーチ「今思うこと、言いたいこと」
3月5日	会場未定	SDGsについて 講演 弓場徹先生
4月2日	会場未定	ワークショップ 「SDGs」
5月7日		アウティングの予定
6月4日	会場未定	役員就任式
日時： 第1金曜日 13：30～15:45		
場所： Zoom 又は 芦屋市民センター		

会長：大谷差智子 会員数：7名 テーマ：Respect Your Passion and Emotion

神戸

2月から Zoom 例会をします。
対面の例会がベストですが
コミュニケーションを維持する
大切さを感じました。

2月4日	Zoom 例会	Speech Demonstration
3月11日	Zoom 例会	Japanese Old Songs
4月8日	Zoom 例会	For the Writing Contest
5月13日	Zoom 例会	Virtual Travel
6月10日		Installation
日時： 第2木曜日 14:00～16:00		
場所： 芦屋市民センター (2月～5月は自宅)		

会長：今井京子 会員数 10名 テーマ：Sophisticated EKC with Corona

イースト神戸

早く対面例会に戻りたいと、皆思
っています。Communication は
「生」でお目にかかれるのが一
番！と今回は認識しました。

2月18日	Debate: Zoom
3月18日	Write a Short Document: Zoom
4月15日	Outing
5月20日	Zoom or Lecture with a Guest
6月17日	Installation Ceremony & Pecha Kucha Presentation
日時： 第3木曜日 10:30～12:30	
場所： 梅田第一ビル 12F 神仙閣	

会長：中川愛子 会員数 20名 テーマ：和顔愛語

京都

ITC-J の理念の基づいたプログラ
ムを作成し会員相互の理解を深
め、休会の折に通信ビジネスを試
みました。

2月19日	みんなでスピーチ
3月19日	カウンスルNo.2 第40期 第1回会合講演 村上信夫氏「嬉しい言葉が自分を変える」(DVD)
4月16日	リモート「〇歳のメッセージ」
5月21日	コミュニケーション「他者紹介」
6月18日	役員就任式
日時： 13：30～15：30	
場所： 京都ガーデンパレスホテル	

会長：瓜生原稔子 会員数14名 テーマ：～やってみよう Let's Try

甲南

すべてZoom例会を想定しています。
恒例のグループワークも工夫して
トライしていただけることを
期待しています

2月25日	(Zoom例会)	自由スピーチ2部
3月25日	()	グループワーク
4月22日	()	グループワーク
5月27日	()	グループワーク
6月24日	()	役員就任式
日時：第4木曜日 10:00～12:00 場所：自宅		

会長：竹田節子 会員数：6名 テーマ：疾風に勁草を知る（後漢書）

六甲

不正なアクセスなどを考慮し、
ZOOMによる会合開催を見合わせ
て、例会設定日には「会長挨拶」を
届けています。

2月20日	休会予定	
3月20日	「五節句、二十四節季を学ぶ」	
4月17日	野外例会	
5月15日	「お香について学ぶ」	
6月19日	インスタレーション	
日時：第3土曜日 14:00～16:15 場所：神戸市医師会館		

会長：西本敬子 会員数：4名 テーマ：心おおらかに再出発！

宝塚

宝塚クラブは少人数ですので、
広い部屋で、例会も和やかに通常
通り行っています。

2月9日	ブックレビュー	
3月16日	スピーチ	
4月13日	リサーチスピーチ	
5月11日	アウトティング	
6月8日	役員就任式	
日時：第2火曜日 13:30～15:30		
場所：宝塚市立男女共同参画センター（ソリオII）		

会長：高島季子 会員数：10名 テーマ：ソーシャルディスタンス・・・でも「心は密に」

御影

Zoomに全員が参加できるように
各自が努力したこと。機器の不具合
が起きたらお互いに助け合えたこ
と。

2月9日	Zoom例会 デモンストレーションスピーチ ブックレビュー	
3月9日	Zoom例会予定	短歌・俳句・川柳
4月13日	民話を楽しむ	
5月11日	アウトティング	
6月8日	役員交代式	プロ・コン
日時：第2火曜日 9:50～11:50 場所：夙川公民館		

会長：中道幸子 会員数12名 テーマ：今日のひと日に感謝して

三田

コロナの収束も見られない中での
2・3月例会の開催は出来ません
でした。会員同士のふれあいや
コミュニケーションが取れないの
が寂しく思いました。

2月6日	スピーチコンテスト(デモンストレーション) 中止	
3月6日	ワークショップ「哲学対話」 中止	
4月3日	アウトティング ～スケッチHow to～	
5月8日	30周年を祝う	
6月5日	役員交代式・委員会報告	
日時：毎月第1土曜日 10:30～12:30		
場所：三田市まちづくり協働センター		

カウンスルを考える

7年前、33期第3回会合のCMTで「カウンスルを考える」の話し合いが行われました。
34期NEWSLETTER第1号に、33期プログラム・教育委員長の報告を掲載しています。
改めて「カウンスル」の役割を考えクラブの声、会員の声を聞きました。(40期 編集委員会)

クラブの声

(回答数) クラブ数9 会員数96

阪神 11/13 神戸 7/7 イースト神戸 8/10 京都 19/20
甲南 9/14 六甲 6/6 宝塚 4/4 御影 9/10 三田 5/12

(あなたにとってカウンスルとは) 複数回答可

学びの場 (68) レベルアップできる場 (43) 感動の場 (28) 情報交換の場 (48)
他クラブとのコミュニケーションの場 (51)

会員の声

スペースの関係上同じ内容の意見は割愛させて頂きました。

(カウンスルとは)

- * ITC-Jの方針をクラブに伝える中間の組織で、所属するクラブを援助、指導する場である。
- * カウンスルの役員、委員長に選出されることは、よりレベルの高いコミュニケーション、リーダーシップを体験できる場である。
- * 考える、体験するなどを通してスキルアップできる場である。
- * 様々な価値観を持ち自立されている方々の集りで、多くの刺激をもらえる場である。
- * ITC-Jの理念のもと、品格のあるコミュニケーションが通じる場であってほしい。
- * クラブの人数が減少しており、カウンスルでは他クラブと交流ができクラブで積み上げたトレーニングを発揮できる場としてカウンスル存在が大事である。
- * 他のカウンスル役職経験者からもその経験を教えてもらえ、カウンスルの存在意味が学べる。

(プログラム)

- * クラブレベルでできない規模の大きい会合で内容が期待できるプログラムをしてほしい
- * クラブ間の交流が出来るプログラム (例：AIについて話し合った期)
- * クラブで準備しカウンスルで発表するようなクラブの繋がりや結束を感じれるプログラム

(組織 カウンスルへの疑問)

- * 組織内にクラブ、カウンスル、そしてITC-Jが必要なのかと思う。
- * コロナ禍以前は上部レベルに期待していたが近年、カウンスルの存在を自体疑問に思う
- * カウンスルの存在を見直さなければ、正直希望も期待も残念ながら持てない。
- * クラブの面倒も見られない組織なのかな、とこの現状に疑問である。
- * コロナ禍で特に思うが カウンスルは中途半端で何事もクラブに反映されていない
- * コロナ禍で各クラブの維持を大切に考える良い時である。
- * 楽しい会食、イベントも大切だが、コミュニケーションを取りながら個々の組織の真価が問われる時だと思う。

(カウンスルへの希望)

- * コロナ禍で先が見通せない中、人々は叡智をしばりコミュニケーションを大切にする努力をしている。Zoom の使用で遠く離れた人とも顔を見ながら意見交換ができる新たな発見をした。この時期であるからこそカウンスルでも率先して所属クラブへの援助が必要である。
- * コロナ禍とは言え、カウンスルはクラブをサポートする意識が大事。会合の中止ではなく延期など開催の努力をするべきである。
- * オンライン例会ができないクラブがあれば、サポートしてどのクラブも取り残さない。
- * 少人数のクラブにとってはカウンスルの存在は大事でありカウンスル会合の開催は必要。
- * コロナ禍で予定通りの日時での対面会合は難しいとしても延期、又は必要最低出席人数での Zoom 会合などできる方法はあったと思う。カウンスルとして会合開催を前提とし、進める努力も必要ではなかったか。
- * ITC-J 歴のある経験者から正しい ITC-J の在り方を学べる場であってほしい。
- * 密室ではなく開かれたカウンスルであってほしい
- * 指名委員会の活動は重要である。またクラブも再認識して委員選出をしてほしい。
- * 会員が何を求めて入会しているか、また、入会を勧めるかを今一度考えるべきである。
- * 単に、おしゃれして会合に集まり時間を過ごすだけでは、単なる社交場であってはいけぬ

カウンスルの役割

34 期 NEWSLETTER 第 1 号より抜粋しました。

第 33 期プログラム・教育委員長

鵜山 紀子

① 「学習の場であり経験を積む場」

カウンスルは ITC-J とクラブの仲介である。

内容豊かなプログラムを提供し、会員はカウンスルでクラブでは得難い経験ができ、様々な情報を得ることができる。

会長、役員、委員長の務めはトレーニングのチャンスを与えられた事である。

① 「出会いの場」

魅力ある会員と接することができる。リーダーとなる会員の人柄にふれることができる。

委員会では同じ役職に就く他クラブ会員と親交を深めることができる。

少人数クラブはカウンスルでの交流を通じて活気をもらえる。

② 「気づきの場」

自クラブで見えていなかったことが見えよ勉強になる。

自クラブの良い点欠けている点にあらためて気づくことができる。

上部レベルでリーダーとして力を発揮する事も組織にとっては必要です。上部レベルの役を務めた後は、一会員としてクラブレベルに戻りその経験を活かす ITC-J 独特のシステム、このシステムをうまく回すことで全体の底上げが確かなものになります。基本的なルールを受け継いで、役割をこなしながら、会員同士が刺激し合い、磨き合うことでクラブはレベルアップが出来るでしょう。楽しい、仲良しであるというだけでは成長に結びつきません。それぞれのクラブが充実した活動をすれば、必ずカウンスルに相乗効果があらわれるのではないのでしょうか。



コロナ禍の中で

御影クラブ 依藤誉子

自粛生活になっても生活自体の大きな変化は無く、もう直ぐ88歳になる主人の介護認定が要支援1から2になって心騒ぐ日々です。「出来ない事はしない」と自分に甘い生き方ですが庭仕事とおかず作りはまめにしています。家事は手抜きで、埃では死なない？と部屋はま〜るく掃く。おかずは栄養に気を付け、有る物（冷蔵・冷凍庫の掃除）で作るのが得意。孫娘（22歳）（15歳）がおばあちゃんのご飯が食べたいと時々来てくれ、白和え、ひじきの五目煮、だし巻き卵、茶わん蒸し・・・その時には特に出汁は昆布と鰹できっちり取ります。クラブでは長く儀典委員をしているので例会で飾る可愛いお花を植えています。例会後、皆とランチをして賑やかに話せる楽しい日は何時来るのでしょうか？待ち遠しい！

イースト神戸クラブ 松浦真知子

コロナが収束に向かうと期待される中なかなか状況が変わらないのは介護施設への訪問です。毎月義母(100歳)、母(95歳)の見舞いに島根県松江市内の別々の介護施設を訪問することを月例としていました。島根県は感染者が比較的少ないのですが現地の対策は関西と変わりありません。訪問は面会禁止ですが家族はガラス越しに話したり、聞こえない場合、携帯電話も使います。母の施設はインスタグラムで動画を送って来るので元気な様子が見られるのはありがたいです。義母は携帯が辛うじて使えるので以前に増して夫の携帯にかかる頻度が増えました。決まって第一声は「電話したかいな？」と。施設のスタッフの方々の日々の努力、ご苦労は並々ならぬこと、本当に感謝するばかりです。ITC-Jの活動もAIのおかげ、ZOOMを駆使→苦使しています。しかし、施設の訪問と同様、対面にすぐるものはありませんね。平常化が待ち遠しい！

三田クラブ 福田田鶴子

お家時間が多くなった今、出来ないことを悔やむより、出来ることを楽しもうと気持ちを切り替え、長年携わってきた「和装道・魅力術」のための資料や衣裳の整理を始めました。その一つ一つには努力や喜び・涙のあとなど深い思いが。私の着物人生の物語がそこに見え隠れします。その物語を懐かしみながら、終わりが見えない整理を続けています。

また、「ITC-J」この道を歩んできたからこそ出会えた皆様に感謝、この時期だからこそ培うことができた知識や知恵が、今後の活動に活かされて、素晴らしい会合になることを願っています。コロナは私達を少し強くしてくれたのかも・・・麦は踏まれて強く大きく育つように。

【 第40期 スピーチコンテスト委員会 】

スピーチコンテスト委員長 吉田浩子

英語の部 大谷差智子(神戸クラブ) 論題：A Disease 題目：What Happened to My Eyes

日本語の部 常田 道子(京都クラブ) 論題：ころも(衣) 題目：過ぎ去りし日々の記憶

海老原 ITC-J 会長より今期の方針を受け、審査員の依頼やDVD-Rの作成連絡に苦勞しました。緊急事態宣言が出され、No.2 高階会長は安全を考慮し、第2回会合を中止するという決断をされました。出場辞退のクラブが相次ぎ、最後は2名が決定しました。コロナ禍の大きな渦に翻弄された1年でした。No.2 代表のお二人のご健闘をお祈り致します。

編集後記

1号に続き表紙の色に今期のテーマをイメージし成熟色を表しました。今期会報は会合にあわせ2回の発行で2号ではクラブの声を届けるためにアンケートを企画しました。如何でしたでしょうか。

記事及びアンケートにご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

有難うございました。

40期 編集者 深澤佳代子(神戸) 委員 西田加代子(三田)